

2025 年 7 月 22 日

学校法人三幸学園
千葉ビューティー&ブライダル専門学校
校長 高橋 一博殿

学校関係者評価委員会
委員長 小室 奈緒

学校関係者評価委員会実施報告

2024 年度学校関係者評価について、下記のとおり評価結果を報告します。

記

1 学校関係者評価委員

- ① 林 一馬 （全米ブライダルコンサルタント協会 日本オフィス 所長）
- ② 松本 遥 （2024 年度 卒業生）
- ③ 小室 奈緒（飛鳥未来高等学校千葉キャンパス キャンパス長）

2 学校関係者評価委員会の開催状況

2025 年 6 月 2 日（会場 千葉ビューティー&ブライダル専門学校 601 教室）

3 学校関係者委員会報告

以下「自己評価・学校関係者評価報告書」に学校関係者評価委員会コメントとして記載

以上

2024 年度 学校法人 三幸学園 千葉ビューティー＆ブライダル専門学校

自己評価ならびに学校関係者評価報告書

自己評価報告責任者：副校長 岸本 拓也

学校関係者評価報告責任者：学校関係者評価委員会委員長 小室 奈緒

1. 学校の教育目標

学園のビジョン「人を活かし、日本をそして世界を明るく元気にする」、ミッション「人を活かし、困難を希望に変える」のもと、ビューティー分野の学校として「人を美しくすることで人を元気にし、日本を明るく元気にする」というビジョンを掲げている。

また「技能と心の調和」を教育理念とし「素直な心、感謝の気持ち、高い意欲を持ち続け、自ら考え、自ら行動することで、社会に貢献する人材」、ビューティー分野として「お客様を美しくすることで感謝される、サロン・組織を活性化できる人材」を育成する人物像とし、専門学校として社会・業界に求められる人材の育成を進めている。

また、千葉校としては「退学率の低減」「生徒に成長を実感させる」「卒業生の満足度向上」を目標に掲げ、「千葉県地域 NO.1」の美容専門学校を目指す。

2. 前年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

① 前年度重点施策振り返り

- ・遠隔授業を取り入れる等、通常授業での工夫を行い生徒の学習意欲を向上させた
- ・チーム担任制を活かして生徒指導や面談を実施した
- ・産学連携やボランティア活動機会を増やした

② 学校関係者評価委員会コメント

【松本委員】

学校の教育目標については、在学中何度も伝えられている印象がある

3.評価項目の達成及び取組状況

(1)教育理念・目標

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか）	4
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	4
各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4

① 課題

- ・保護者会にて学校の教育理念・目標の説明を実施しているが、保護者会不参加者への教育理念・目標の浸透が課題

② 今後の改善方策

- ・スタートアッププログラムやホームルームでさらなる教育理念・目標の浸透を図る
- ・全体会議や研修などで教職員への教育理念・目標の浸透を図る
- ・保護者連絡ツールを導入し、保護者に対して教育理念・目標の浸透を図る

③ 特記事項

- ・教職員に対し「あきらめない教育」の配布及び研修の実施

④ 学校関係者評価委員会コメント

【松本委員】

保護者会の参加状況はどの程度なのか

【栗谷川さん】昨年は学校行事である模擬披露宴前に 30 分程度見学を兼ねて実施したが

近年生徒と保護者の仲が良い家庭も増えているため、半数以上の保護者が参加している

【林委員】

専門学校で保護者と連絡を密にとる目的・理由とはなにか

【栗谷川さん】登校に課題がある生徒に関して保護者と連携をとることで解決させたい

【蒲生さん】保護者全体に発信をする目的は、学校としてどのような教育を行っているのか理解してもらうため

【木村さん】三幸学園は「支援をする」という軸があるため、保護者と連絡を密にとることは学園の特徴といえる

保護者からの連絡をキャッチできる仕組みがあるとより良い

(2)学校運営

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
事業計画に沿った運営方針が策定されているか	4
運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4
人事、給与に関する制度は整備されているか	4
教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4
教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4

① 課題

- ・情報共有のスピード
- ・教職員の人手不足とそれに伴う残業時間増加等、労務管理

② 今後の改善方策

- ・教職員に対しては SankoGate や Teams、生徒へは Google クラスルームをさらに活用することで情報共有をスピーディーに行う
- ・月の残業時間目標を設定し、各自管理を行う

③ 特記事項

なし

④ 学校関係者評価委員会コメント

【木村さん】

業務に関しては教員の異動もあることを考慮し、偏りのないようにしている

卒業生採用等で繋がりを大事にしながら、良い人材を良いサイクルで排出できるようにしている

【小室委員】

高校分野では、些細なことでも改善していけるように Google フォーム等を活用して様々な意見を集めている

職員室は控室でもあり職場でもあるため、オンオフの切り替えが難しいところもある

【林委員】

チーム担任制はとても良いと思う一方、教員 1 人当たりの負担が増えているのではないかと感じる

休憩時間の切り替えも難しい

教員の労働環境の改善が必要だと感じる

【松本委員】

職場では全体のグループラインで当日の連絡事項をチェックできるようにしている

学生時代、Google classroom の活用がもっとあれば良かった

教職員・生徒それぞれの行動の見える化があると生徒の不満が減るのではないかと

(3)教育活動

【評価項目】（評価＝適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1）	評価
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
目標の設定として、教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4
関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4
関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	4
授業評価の実施・評価体制はあるか	4
職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	4
成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	4
資格（免許）取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保し、組織できているか	4
関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含め）の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	4
関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4
職員の能力開発のための研修等が行われているか	4

① 課題

- ・学校外部関係者とのつながり強化
- ・各授業の難易度等の再検討
- ・各授業に関して将来への必要性を伝えきれていない
- ・授業展開に関してより生徒満足度を上げるための工夫が足りていない

② 今後の改善方策

- ・企業訪問等で学校外部関係者の方から評価及びアドバイスを頂く
- ・各授業における導入に関して念入りに検討し、将来へどうつながるのかを生徒へ伝える
- ・授業見学 WEEK 期間以外にも教職員が積極的に授業見学を行い、授業展開の改善を図る
- ・授業アンケートの結果をもとに授業内容を再検討
- ・定期的な教科会を実施し、教員同士の連携を強化する

③ 特記事項

なし

④ 学校関係者評価委員会コメント

【小室委員】

高校分野では様々な登校スタイルがあるが、座学の授業に関しては全て座学で行っている
実技・座学それぞれ偏りすぎず挑戦できる時間があるとよいと感じた(全学科)

【林委員】

授業に関しては導入を念入りに行うことが全てといえる

他校で授業の目的が明確に伝わっておらずもったいないと感じたことがあったため、

生徒にとって受ける意味が明確になるよう念入りに伝えることが重要である

アンケートのとり方については本心がきちんと出せる形になっているか確認が必要(ブライダルプロデュース科)

【松本委員】

授業の導入について大体は意味を感じられていたが、座学の授業はあまり意味を感じることができなかった
教員から一方的に伝える授業ではなく教員・生徒双方向の授業の方が生徒の意欲が感じられた
(ブライダルプロデュース科)

(4)学修成果

【評価項目】（評価＝適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1）	評価
就職率の向上が図られているか	4
資格（免許）取得率の向上が図られているか	4
退学率の低減が図られているか	4
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3

① 課題

- ・退学者数の低減
- ・卒業生の近況状況が把握できていない

② 今後の改善方策

- ・チーム担任による生徒指導を徹底する
- ・チーム担任間の情報共有を徹底する
- ・担任会議での情報共有を徹底する
- ・ハイパーQU を活用する
- ・就職先との連携を強化する
- ・同窓会委員を通じての卒業生との交流づくり

③ 特記事項

なし

④ 学校関係者評価委員会コメント

【小室委員】

高校では卒業生情報を入手できていない

また、LINE の登録はあるが教員レベルだけで学校単位ではない

退職した卒業生について学校から卒業後のフォローがあるのであれば報告も増え、美容分野から離れる卒業生も減らせるのではないか(ブライダルプロデュース科)

【林委員】

卒業生の定着率(退職率)は就職先との関係において非常に重要(ブライダルプロデュース科)

・企業訪問に関しては働き方の改善により可能になるのではないか

・卒業生アンケートの回答率が低い理由は卒業生にとってアンケートの優先順位が低いからではないか

→アンケート回答者へドリンクチケットをプレゼントする等、仕組みを見直して改善してはどうか

【松本委員】

卒業生アンケートの連絡は LINE できたが、他の連絡により埋もれてしまい回答できていなかった

アンケートと言われると時間がかかりそうだと感じ、後回しになってしまうのではないか(ブライダルプロデュース科)

(5) 学生支援

【評価項目】（評価＝適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1）	評価
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
学生相談に関する体制は整備されているか	4
学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4
課外活動に対する支援体制は整備されているか	4
学生の生活環境への支援は行われているか	3
保護者と適切に連携しているか	4
卒業生への支援体制はあるか	3
中途退学者への支援体制はあるか	3
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	3

① 課題

- ・保護者との連携不足
- ・卒業生及び就職先との連携不足
- ・退学を考えている生徒に対しての支援不足
- ・チーム担任と教科担当者との連携不足

② 今後の改善方策

- ・課外活動の体制を整える
- ・保護者への密な連絡、相談及び協力を促す
- ・卒業生への支援体制の構築
- ・退学を考えている生徒に対しての支援体制の構築
- ・高等学校との連携
- ・Teams を活用した担任と教科担当者との連携

③ 特記事項

なし

④ 学校関係者評価委員会コメント

【蒲生さん】

放課後の検定対策等、生徒が頑張りたいというときに学校を開けていることで支援ができていると感じる
(ブライダルプロデュース科)

【松本委員】

チーム担任・教科担当者の連携に関して、情報共有をもっと綿密に行っていれば指導に相違がなく無駄を省けるのではないかと(ブライダルプロデュース科)

(6)教育環境

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4
学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4
防災・安全管理に対する体制は整備されているか	4

① 課題

・安全管理体制の浸透

② 今後の改善方策

・ホームルームでの避難場所確認
・ホームルームでの危機管理マニュアル周知

③ 特記事項

・避難訓練を実施

④ 学校関係者評価委員会コメント

特になし

(7)学生の受入れ募集

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学生募集活動は、適正に行われているか	4
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
入学選考は、適性に行われているか	4
学納金は妥当なものとなっているか	4

① 課題

・入学後をイメージできる広報活動
・学費サポート、就学支援

② 今後の改善方策

・デジタルテキスト、VR 等、ICT 教材を活用した授業を入学希望者に対して適正に伝える

③ 特記事項

なし

④ 学校関係者評価委員会コメント

特になし

(8)財務

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
財務について会計監査が適正に行われているか	4
財務情報公開の体制整備はできているか	4

① 課題

【中長期計画】

なし

【予算・収支計画】

なし

【会計監査】

なし

【財務情報の公開】

なし

② 今後の改善方法

【中期計画】

今期は第3期中期計画(2023 年度～2027 年度)の2年目にあたり、中期計画及び進捗状況はホームページ上に公開している。

【財務情報の公開】

なし

③ 特記事項

第3期中期計画については、東京未来大学及び小田原短期大学の中計改定に加え、東京みらい中学校及び支援学校仙台みらい高等学園の内容を追加し、第3期中期経営計画(第2版)として改定する予定である。

④ 学校関係者評価委員会コメント

特になし

(9)法令等の遵守

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
関係法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4
自己評価結果を公開しているか	4

① 課題

なし

② 今後の改善方策

なし

③ 特記事項

なし

④ 学校関係者評価委員会コメント

特になし

(10)社会貢献・地域貢献

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
生徒のボランティア活動を奨励、支援しているか	4
地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	3

① 課題

- ・産学連携やボランティアを経験できる機会の提供

② 今後の改善方策

- ・各企業や地域とのつながりを深め、提供できる機会を増やす

③ 特記事項

なし

④ 学校関係者評価委員会コメント

【小室委員】

高校ではボランティアについて新宿中学校等、地域との連携を多少とっている
千葉ビューティー＆ブライダル専門学校を始め、専門学校とも取れるとよいと感じた

【林委員】

産学連携・ボランティアともに学生主体なのかどうか的大事
学校という場を活用できるとよい(ブライダルプロデュース科)

(11)国際交流(必要に応じて)

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
留学生の受入れ・派遣について戦略を持って国際交流を行っているか	3
受入れ・派遣、在席管理等において適切な手続き等がとられているか	3
学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	2
学内で適切な体制が整備されているか	3

① 課題

・現在、留学生の入学者がいない

② 今後の改善方策

・入学希望者への適切な広報活動

③ 特記事項

なし

④ 学校関係者評価委員会コメント

【小室委員】

生徒自身が留学生というケースはほぼない

【林委員】

国際交流について

日本人にとって当たり前なことが留学生にとっては当たり前ではないため、想定外のところでトラブルが起こるようになる

【松本委員】

東京會館のレストランで働いているため、外国人のお客様がたくさんいらっしゃる

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

【蒲生さん】毎年ブラッシュアップしていきたい

【松本委員】在学中は無駄なことはひとつもなく、授業はもちろん行事もその時は必要ないかと思っても絶対に真剣に取り組むべきだと感じている。卒業してから学んでおいてよかったと必ず思う時が来る(ブライダルプロデュース科)

【林委員】何を行うのも目的等をしっかり伝えてからでないと生徒は何のために行っているものかが分からず、必要性を感じないのではないか。導入が非常に大切(ブライダルプロデュース科)

【小室委員】教育理念の浸透や退学者低減については、専門学校と連携して行いたい(ブライダルプロデュース科)